

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和元年5月15日 午後7時00分から午後8時50分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、掛川晴一委員、金井修一委員、金子るり子委員、木下嘉章委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、宮島友和委員【欠席委員3名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、滝沢産業建設課長、金井丸子・武石上下水道課長、坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年5月22日
協 議 事 項 等	

1 開会(大草副会長)
2 あいさつ(池内会長)
3 協議・報告事項
(1) 令和元年度 武石地域自治センター重点目標について
・令和元年度武石地域自治センターの重点目標についてセンター長から説明
【質疑等】
(委員)地域おこし協力隊の活動内容や成果を教えてください。
(地域振興課長)現隊員は、平成28年10月に着任し今年9月で3年間の任期が満了する。活動内容は、地域イベントへの参加、市内外の諸団体との交流を通じた武石産農産物や協力隊活動のPR、景勝地を利用した撮影イベントの開催、SNS等を使い武石の魅力の情報発信をしている。地域への来訪者を増やすことを目的に取り組んでおり、平成30年度に開催したイベントには55名が参加、雲溪荘への宿泊誘致を行ったとのこと。発信したツイッターの閲覧回数は今年2月で約90,000回となっている。隊員は写真撮影を得意としているため、武石地域の美しい風景写真をSNSなどに投稿している。
(委員)美ヶ原などの星空撮影はやっているか。また、時季に合った写真をどの程度情報発信しているのか。
(地域振興課長)昨年、環境省がやっている光害調査に協力隊員が関わり、美ヶ原は本州では1番、全国で3番に光害が少なく星空がきれいだという結果が出ている。美ヶ原の星空は大切な観光資源であり、美ヶ原高原美術館では今年も星空観望イベント「星空さんぽ」の開催が予定されている。季節の写真については、開花情報をツイッターで発信したり無料で使用できる写真サイトにアップされている。
(委員)それらの写真について地域住民は見て知っているのか。地域住民が知らずに外部の人に見てもらっただけでよいのか。まず地域住民が武石のすばらしさを知った方がよいのではないか。誰もがインターネットなどを使いこなせるわけではないので、イベントの際に写真を展示するなど地域住民にPRすることも大事ではないか。
(地域振興課長)委員のおっしゃるとおりである。隊員の任期は9月までだが、写真の掲載場所の周知を図ったり、イベントの案内をできるように取り組みたい。
(会長)いろいろな方法で中身を見られるようにしておいた方がよい。住みよい武石をつくる会のホームページにリンクを貼ったらどうか。新総合センターが完成したら、地域の情報が見られるモニターがあ

ればよいと思う。

(委員) 美ヶ原の星空が全国で3位とのことだが、阿智村はどのくらいなのか。

(センター長) 光害調査に参加した場所の中での評価である。

(委員) 阿智村は星空を非常にPRしている。

(委員) 美ヶ原が本当に全国3位であるなら、観光資源としてもっとPRした方がよいと思う。

(センター長) 今回の結果を踏まえて今年どうやっていくかが課題である。

(委員) 雲溪荘で星空ツアーなどを企画してもらってもよい。

(2) 令和元年度 全体協議の項目について

・公共交通の課題について

(会長) 今回の資料は、昨年6月の地域協議会資料の一部と昨年度のデマンド交通の運行体系変更についての資料である。本日は、公共交通について自由に意見をお出しいただきたい。

【質疑・意見等】

(委員) デマンド交通の運行体系の変更については、すでに実施されているのか。

(産業建設課長) 昨年10月1日から実施されており、小人・障害者手帳所持者の運賃が半額になっている。

(委員) 以前、大人料金を半額にしてほしいという意見もあったがどうなったか。

(産業建設課長) 料金を半額にという要望は、数年前に上田市公共交通活性化協議会に提出したが、実施はされていない。上田市全体の公共交通のあり方を考える必要があり保留になっている。地域の皆さんの公共交通の活用や利便性を考えて料金体系を考えていくことになっている。

(委員) 高齢者が上田まで行かれないという意見が前回も出たが、デマンド交通で年券や半年券などを作ったらどうか。デマンド交通の運行エリアは、そのパス券が自由に乗れるという方法。横浜市が高齢者を対象にシニアパスを実施している。

(産業建設課長) 市内でも地域ごとに料金体系などが異なるため統一が難しい。住みよい武石をつくる会や地域協議会で公共交通について検討していただいている中で、他地域の状況も見ながら検討していきたい。

(委員) 武石から直接上田まで行く交通手段がない。大屋で電車に乗り換えなければいけない。

(産業建設課長) 路線バスも丸子駅での鹿教湯線への乗り換えが通常運行になっている。先ほどの件と同様、検討課題として地域でよく協議していかなければいけない。

(委員) 子どもがおらず、免許のない人はやはり困ると思う。

(委員) デマンド交通の利用者実績がわかれば教えていただきたい。

(産業建設課長) 古い資料になるが、平成29年度利用者数で一般5,638人、園児825人、小学生1,713人、中学生13人、計8,189人である。一般利用はあまり増減がないが、園児や小学生はその年の地区人数により利用者数にばらつきがある。例年7,000~9,000人程度でほぼ横ばいである。

(委員) 高校生の利用はどうか。

(産業建設課長) デマンドバスは通学時間とは合わないため、路線バス利用が多いと思われる。

(委員) 最近、高齢者の事故が多く、免許の返納の話をよく聞く。いつか自分も免許を返納したときのことを考えると、将来の公共交通のあり方に非常に不安を感じる。ほんの少しの外出にも交通手段がなければ、家に閉じこもってしまうことになる。大手スーパーでは高齢者宅には無料で宅配してくれるようだが、場所も限られている。生協などもあるが、やはり将来に対してかなり不安がある。

(会長) この件については喫緊の課題であり、現に困っている人もいると思う。

- (委員)食料は必需品のため、さまざまな宅配サービス事業がある。事業者は利益を追求するため、行政からアリオなどへ補助金を出して移動販売などを実施してもらったらどうか。
- (委員)アリオで宅配もやっているが、下武石までしか配達しない。デリシアでも宅配をやっているようである。
- (会長)以前、自治会長をやったときにアリオの方と移動販売についての話をしたことがある。現在、沖に毎週来ているが売り上げは1~2万円程度で、通常1か所3万円程度の売り上げがほしいとの話であった。
- (委員)沖の移動販売車の場所まで行く交通手段を心配しなければいけない。
- (委員)例え売上額が数千円であっても、そこに行政が補助を出すなどして移動販売を継続していく必要があると思う。
- (センター長)今年度の重点目標に入っている「小さな拠点づくり」について、総務省の地方創生のメニューの中には、地域の交通手段や買い物難民についてのメニューもある。武石地域をどうしていくか、武石地域で何ができるのかについて、住みよい武石をつくる会や自治連でも取り組んでいき意見をもち寄って一本化していきたいと考えており、今年度それに取り組んでいく予定。最終的にどうしていくかは、それぞれの団体の合同会議を開催して一本化していきたいと思っているが、地域協議会としては公共交通に対してどうしていったらよいかを検討していただければと思う。
- (委員)アメリカでは、高齢者の皆さんが電動シニアカーで遠出をしているとのこと。車と混在するのは危険なので、例えばの話だが自治センター周辺に全体駐車場を作って、それより西は馬車を使って移動するなどしたら面白い地域になるのではないかな。
- (センター長)例えば、バス停近くにシニアカーの置ける建物を作り近くのバス停まで来てもらえればバスに乗れるという案も考えられる。また、伊那市で実証実験もされている自動運転カーも小さな拠点の制度の中にあたり、白タクについても特別区の指定を受けると白ナンバーで乗合ができたりするようなので、さまざまな意見を出していただきたい。
- (会長)小さな拠点についての内容をインターネットなどで見ることはできるか。
- (センター長)小さな拠点については、今月職員で取り組みを始めるところであり、方向性が決まったところで地域協議会や住みよい武石をつくる会に入ってくださいと予定である。その際に、総務省の制度の勉強会も兼ねて実施したいと考えている。
- (委員)移動販売車を市や住みよい武石をつくる会で補助金を出して購入し、自分たちのやり方で販売してくれる人を募集したらどうか。
- (委員)移動販売の売り上げに関わらず、一路線いくらなりの補助金を出したらどうか。
- (委員)デマンド交通と路線バスの運行時間の関係はどうなっているか。
- (会長)デマンド交通は平日の昼間、路線バスは平日の朝夕の通勤・通学時間帯と休日に運行している。
- (産業建設課)デマンド交通はタクシーではないので呼んだからと言ってすぐ来るわけではない。時刻表はあくまで目安であり、利用30分前までに予約してもらおうシステムである。
- (会長)アリオの販売は、公共施設内ではできないということではよかったか。月2回ある高齢者の介護予防体操の日に移動販売をしたらどうかという話をしたが、確か公共施設ではできないという話だった。
- (地域振興課長)確認する。
- (委員)以前、テレビ番組の収録に参加したときの内容だが、若者の起業支援として移動販売車の購入に補助を出す制度があるとのこと。一番の難点は仕入れ先のようなが、テレビ番組の例ではイトーヨーカドーと提携し、売れ残りは店に返せるルールができていたため起業者のリスクが減らせるという内容であった。その地域では決まった場所での販売と昔ながらの御用聞きをして販売していた。もし、やり

たいという若者がいればそうした制度を利用できるのではないか。

(委員) 上田への移動時間が20~30年前より長くなったと感じている。丸子地域の信号が増えたり、右折専用レーンでの待ち時間が長いなど、丸子の町中を通過するのに時間がかかる。丸子地域の交通システムの見直しを考えていただけたらと思う。災害時、武石と丸子をつなぐ道路は小屋坂トンネルと腰越しかなく、その道路がふさがってしまうと陸の孤島になってしまう。市として全体の交通システムを考える必要があるのではないか。

(会長) 四者協議を行う予定もあるとのこと、公共交通については「オール武石」で取り組んでいく必要がある。事務局と相談しながら進めていきたい。

・雲溪荘の事業改善提案について池内会長から説明

【意見等】

(委員) 宿泊プランの4~5月桜まつりプランに余里の花桃を入れる、7~8月は夜の星空をバスで見に行く、秋は紅葉をバスで見に行くというのもひとつの手ではないか。

(委員) 松茸料理だけでなく、きのこ料理でもよい。どこでも食べられるものを提供するのではなく、雲溪荘へ行けば食べられるという料理を提供した方がよいと思う。

(3) その他

・令和元年度第3回地域協議会の日程について

日時：6月19日(水)午後7時~

・美ヶ原高原のイベントについて(産業建設課説明)

5月26日(日)美ヶ原牧場放牧まつり

6月1日(土)美ヶ原高原星空さんぽ(美ヶ原高原美術館)

4 閉会(大草副会長)